



寄 付

温かい善意ありがとうございます

●みどり野行政区から寄付

みどり野行政区は、文化祭の収益金を牛久市社会福祉協議会へ毎年寄付しています。

11月18日、みどり野行政区の廣瀬隆司区長と小野寺治子さんが市役所を訪れ、収益金5万円を牛久市社会福祉協議会へ寄付してくださいました。この寄付金は、地域福祉推進のために使われます。



●歳末助け合い^{たくはつ}托鉢^{ぶっきょうかい}

牛久市佛教会による托鉢行脚が12月2日、市内で行われ、国道6号や牛久駅などで募金を呼び掛け、最後に市役所で来庁者や職員が募金の協力をしました。この托鉢による募金288,643円は、牛久市社会福祉協議会に全額寄付していただきました。この募金は、援護対象世帯への見舞金として使われました。



学校給食「和食の日」

給食で味わう日本の味

11月24日の“いい日本食”「和食の日」に市立保育園、幼稚園、小中学校で「和食の日」給食が行われました。この日ひたち野うしく小学校では、鶏の天ぷら、小松菜のお浸し、大根のみそ汁など、だしをきかせた和食の献立でした。児童たちは、「ふだん家で和食はあまり食べないけど今日の給食もとってもおいしい」などと話し、味わっていました。



奥野小学校・牛久第二中学校

おくのキャンパスがスタート

奥野小学校・牛久第二中学校では少人数の英語教育など特色のある取り組みを行うとともに、市内全域から希望すれば就学することができる「小規模特認校」の制度を実施しています。

この「おくのキャンパス」の第一弾として「おくのふれあいまつり」を11月18日に奥野小学校で開催。子どもたちは、国際理解教育、環境教育といったテーマで学習発表などを行いました。



▲奥野っ子ステージと題された発表

秋の叙勲

受章おめでとうございます

「秋の叙勲」と警察官や自衛官などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では13人の方が受章しました。

おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

●平成28年 秋の叙勲

瑞宝小綬章

宇野 末次 (元静岡刑務所長)

瑞宝双光章

羽賀 博美 (元外務事務官)

瑞宝単光章

高島 晃一 (元牛久市消防団団長)

●第27回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

大森 勝也 (元3等陸佐)

櫻井 守 (元警視庁警部)

松谷 長治 (元警視庁警部)

宮下 勝之 (元警視庁警部)

山田 盛男 (元警視庁警部)

瑞宝単光章

腰替 勇太郎 (元警視庁警部補)

鈴木 正治 (元警視庁警部)



▲奥野さくらふれあい保育園園児、奥野小学校児童、牛久第二中学校生徒と地域の人たちとのふれあいの時間

牛久市初、夜間における牛久市防災訓練を実施

11月26日、牛久小学校を会場に、「牛久市防災訓練」を行いました。この訓練は、「茨城県を震源とする直下型地震が午後5時に発生し、牛久市では震度6強が記録された」という想定で実施しました。

●初動訓練(シェイクアウト訓練)

訓練は、各家庭などで、午後5時に牛久市全域の方が一斉に避難行動をとる初動訓練(シェイクアウト訓練)から始まりました。

●住民避難訓練

その後は、牛久小学校を「第2次避難場所」としている、行政区(上町、下町、牛久駅西ニュータウン、秋住団地)の皆さんが、暗い中、避難所まで徒歩で避難しました。夜間の避難訓練は昼間よりも危険を伴います。行政区の皆さんが避難する際に、牛久市消防団、牛久警察署の方々が避難者の安全誘導を行いました。

●避難所生活体験

また、第2次避難場所である牛久小学校体育館では、避難所開設と避難所生活体験、炊き出しの試食を行いました。炊き出しはカレーで、米は市で備蓄しているアルファ米を使用しました。避難所生活体験では、避難所ルールの説明やペット避難の対応、保健師による健康講話、牛久消防署員によるけがの応急手当および簡易担架の作り方等の説明があり、参加者も実際に体験しながら学びました。

訓練に参加した市民からは、「夜間の道は暗く、視界が悪かった。今回歩いたことは良い経験となり、今後役に立つと思う」などの声が聞かれました。牛久市では、今後も定期的に防災訓練を計画していきますので、引き続き皆さんのご協力をお願いします。



シェイクアウト訓練。テーブルの下などに隠れ、揺れが収まるまで体を守ります



夜間の危険箇所を想定しながら避難



参加者も一緒に簡易担架作りを体験



炊き出し訓練では、水やお湯を入れるだけでご飯が食べられるアルファ米を使用。行政区は、おしるこ・甘酒・いも煮を作りました

挨拶



牛久市長

根本洋治

地震が起きると人はパニックになり、何もできないことを念頭においてほしい。自分の身は自分で守る。そして家族、近所を守る。これからもいろんな場面を想定した訓練をしていきたいと思っています。



牛久市消防団
団長 山岡恒夫

東日本大震災のとき、全員が助かった学校は、年1回防災訓練をしていました。牛久市で考えられる災害は、必ず来るとして防災訓練に真剣に取り組みましょう。



茨城県牛久警察署
署長 桑原 充

災害に対する危機意識を持ち、どう対応するか、コミュニケーションをしてみたい。自分の身は自分で守ることが鉄則であり、地域住民の防災力を高める必要があります。

年末の交通事故防止県民運動キャンペーン

年末の交通事故に気を付けて

事故が多発する年末を前に、12月2日、ひたち野うしくエリアで「年末の交通事故防止県民運動キャンペーン」を行いました。当日は地元の下根中学校の生徒も参加し、運転者や歩行者にチラシ・啓発品を配布しながら、子どもと高齢者の事故防止、飲酒運転撲滅、シートベルトの着用など交通事故防止を呼び掛けました。



園児が感謝の気持ち伝える

交通安全教化員に感謝の気持ちのプレゼント

交通安全教室などを開き、交通安全や防犯について子どもたちに教えている交通安全教化員に感謝の気持ちを伝えるため、11月21日、牛久幼稚園の園児が市役所を訪れました。園児たちは自作したカレンダーを交通安全教化員に手渡し、「いつもありがとう。カレンダー大切に使ってね」と感謝の気持ちを伝えました。



厚生労働大臣表彰受賞

長年募金運動に貢献

11月11日に開催された、全国社会福祉大会において、一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟茨城県第27団および日本ボーイスカウト茨城県連盟牛久第1団が社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞し、11月25日に市長を表敬訪問しました。両団は、共同募金運動推進のため、20年以上にわたり募金活動を行っています。両団の代表は「子どもたちも喜んでいる。今後がんばりたい」と話していました。



牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会

国道6号牛久土浦バイパスの建設促進を要望

11月21日、根本洋治牛久市長が会長を務める「牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会」は、中川清土浦市長が会長を務める「一般国道6号都市計画道路牛久土浦線等建設促進期成同盟会」と合同で、森昌文国土交通省技監に対し、国道6号牛久土浦バイパスの建設促進について要望活動を実施し、要望書を提出しました。当バイパスの建設促進の強い要望に対し、森技監より「全体としてスピードアップしてしっかりと力を入れてやっていきたい」と回答をいただきました。

当日は、市川圭一牛久市議会議長をはじめ、葉梨康弘衆議院議員、山岡恒夫茨城県議会議員もオブザーバーとして同行し、森技監に対し地域全体で強く望んでいることを訴えました。



しあわせのクローバー in 岡田小学校区 健康長寿まつり

地域で育む健康づくり

11月27日、岡田小学校体育館で「しあわせのクローバー in 岡田小学校区 健康長寿まつり」を開催しました。この催しは、岡田小学校区地区社会福祉協議会と牛久市が共同開催した初めての健康づくりイベントで、健康を個人レベルにとどめず、地域の皆さんが共に触れ合いながら健康づくりを行うことで、生涯にわたり活発に過ごすことを目的としています。会場では、健康づくりに繋がる4つのテーマ「運動」「食育」「地域のつながり」「忘れないでね健診」をしあわせの四つ葉のクローバーに見立て4つのコーナーを設けました。それぞれのコーナーでは健康づくりの実践につながる工夫がなされ、300人を超える来場者が楽しく触れ合いながら健康について学びました。地域の皆さんと行政が力をあわせ、「生涯かっぱつ」なまちづくりに向けた取り組みのスタートとなるイベントとなりました。



▲牛久第一中学校混声合唱団による開会セレモニー

牛久市国際交流協会 冬の交流会

冬のひとときに 異文化交流

牛久市日本語教室の「冬の交流会」が12月3日、三日月橋生涯学習センターで行われ、外国人学習者や日本語教室ボランティアの方たちなどで賑わいました。

会場では、牛久っ子太鼓の演奏・体験やクラスごとの歌の発表などが行われました。また、さまざまな国の料理が持ち寄られるなど食文化の交流も楽しみました。最後は、皆が長く列になり「ジェンカ」でダンス、終始和やかに会が進みました。



第5回みんなのしあわせ見本市

健康づくりや福祉を 楽しむイベント

11月20日、牛久運動公園体育館で「第5回みんなのしあわせ見本市」が開催されました。開会セレモニーでは「USHIKU野菜オーケストラ」のテーマソングを発表。牛久第一中学校混声合唱団が合唱で披露しました。そのほか、ステージ発表や体力測定なども行われました。来場者からは「健康チェックに毎回来ている」との声も上がり、このイベントが市民の健康づくりとして浸透している様子が伺えました。



JA竜ヶ崎の各部会が牛久産野菜を寄贈

牛久っ子たちへ おいしい贈り物！

12月2日、学校給食に使ってほしいと、JA竜ヶ崎の大根生産部会からうしく河童大根850kg、白菜生産部会から白菜806kgが牛久市に寄贈されました。寄贈された大根と白菜は、2週間かけて各学校オリジナルの献立に使われ、子どもたちは一番おいしい旬の野菜を味わうことができました。今季は野菜の価格高騰が続いたこともあって、本当にありがたい贈り物となりました。



特別展「牛久藩主とその時代」

シャトーカミヤで 牛久藩の特別展

市制施行30周年と重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設の災害復旧を記念し、10月29日から12月11日に、特別展「牛久藩主とその時代～歴代藩主が遺したもの～」をシャトーカミヤ内にあるオエノンミュージアムで開催しました。会期中には、約4,000人の見学者が訪れ、牛久藩に関する貴重な資料を熱心に見学していました。



ふれあい美花市民の会 平成28年度活動状況

花で心を豊かに！ふれあい美花市民の会

心豊かな潤いのある活気に満ちた「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内22団体と幼稚園・小学校・中学校が一体となり毎年積極的に活動しています。今年度の「牛久市花いっぱい運動コンクール」と、大好きいばらき県民会議主催の「花と緑の環境美化コンクール」の審査結果を発表します。

◆「第44回花と緑の環境美化コンクール」審査結果

賞名	部門	団体名
茨城県花き園芸協会会長賞	地域の部	刈谷地区自治会
茨城県造園建設協会会長賞	フラワーロードの部	かみや緑の里親元気クラブ

◆「第27回牛久市花いっぱい運動コンクール」審査結果

賞名	部門	学校名
会長賞	フラワーロード・地域・団体の部	中根小学校
特別賞		神谷小学校
努力賞		第一幼稚園、牛久第一中学校 牛久第二中学校、牛久第三中学校 牛久南中学校
敢闘賞		ひたち野うしく小学校

※上記審査結果は、市ホームページでも写真入りで紹介しています。



みどりのカーテンコンテスト

みどりのカーテンコンテスト結果発表

みどりのカーテンコンテストは、みどりのカーテンを育てることで、夏の強烈な日差しを和らげ、各家庭における冷房の使用を抑制するとともに、省エネに対する意識を高揚し、地球温暖化防止につなげることを目的に行っています。今年の入賞者は10月16日に開催された第9回うしくみらいエコフェスタで投票の結果、以下10名の方が選ばれました。おめでとうございます。

【入賞者】

山城真さん、亀井仁蔵さん
本橋奈都美さん、河原進さん
加藤美恵子さん、高橋直廣さん
田所百合子さん、宮本久子さん
百成卓三さん、飯田喜代司さん

交通安全・防犯コンクール

明るいまちを守っていこう

12月3日、市保健センター研修室で、「交通安全・防犯・社会を明るくする運動作品コンクール表彰式」が行われました。表彰式では、力作に「市長賞」、「警察署長賞」などが贈られました。

今回表彰された作品は、カレンダーやうちわなどに印刷して、交通安全や防犯などの啓発活動に使われる予定です。



表彰を受ける子どもたち。写真は市長賞

女化文化芸術活動推進協議会主催

女化秋祭り ～芸術祭・収穫祭～

女化青年研修所で12月9日から10日に「女化秋祭り～芸術祭・収穫祭～」が開催されました。会場では「キツネの面づくり」や「キツネメイク」などの楽しい企画が催され、たくさんの方たちが参加しました。また、地元で収穫されたさつま芋の蒸し芋が来場者に振る舞われるなど、心も体も温まる一日となりました。



メイクとお面でキツネに変身！

上柏田行政区文化祭

たまり場文化祭 「かみかしわんだふる」^{あっし}

上柏田行政区(日野功史区長)で初の開催となるたまり場文化祭「かみかしわんだふる」が11月21日から23日、上柏田区民会館で開催されました。日野区長は、「手探りで始めた文化祭でしたが、ご近所さんには隠れた芸術家がたくさんいることが分かり驚きの連続でした。これからも友好の輪を広げたい」と話していました。



パッチワーク・手作り小物・編み物・吊るし飾り等を展示。準備作業の段階からコミュニケーションの輪が広がりました

緑ヶ丘行政区でイルミネーション

光り輝く集いの場

緑ヶ丘区民会館(緑ヶ丘行政区・齋田文彦区長)がイルミネーションで彩られています。これは、地域住民がボランティアで始めたもので、今年で4回目になります。齋田区長は「イルミネーションは2人で作って飾り付けている。励みになるからぜひ見に来てほしい」と話していました。イルミネーションは1月末まで行われる予定です。



第11回ブリアントヴィルうしく

牛久の夜を彩っています

12月3日、約10万球のLEDで牛久駅周辺を彩る「ブリアントヴィルうしく」の点灯式がJR牛久駅東口やっぺやっぺ広場で行われました。制作者代表の野村正義さんは、「今年のテーマはセブレーション。たくさんの人に楽しんでもらえれば」と話していました。イルミネーションは、2月19日までの毎日、午後5時から午前1時まで点灯しています。



さまざまな個性が響き合う、うしく現代美術展

うしく現代美術展は、地元の作家を中心に市民・行政が連携して開催する地域に根ざした個性豊かな美術展です。今年は第22回展として、11月20日から12月4日にかけて中央生涯学習センターで開催し、52人の作家が、平面・立体・クラフトの各ジャンルで、「創生の交差点」をテーマに作品を展示発表しました。



1



2



3



4



5

1 内覧会のようす 2 作家による作品説明。笠原鉄明氏「雲のゆくえ」 3 触って遊べる作品も。向後珠美氏「勝手な出会い」
4 市民が参加した彫刻ワークショップ 5 小中学校鑑賞会。出品作家と市内の全小中学生が芸術交流を行いました

今回、牛久市制施行30周年記念企画として、友好都市であるイタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市からの招待作家Sarah Del Giudice (サラ・デル・ジュディチェ)氏の彫刻作品を展示しました。また、友好都市の芸術交流として、両市の子どもの絵画も展示しました。

11月23日にはチェロとピアノによるギャラリー・コンサートと夜の鑑賞会が行われ、演奏を単独で楽しむだけでなく、自由に作品を鑑賞しながら、耳に入ってくる音楽と芸術作品とを重ね合わせるという試みがなされました。

中村義孝^{よしとか}実行委員長は「展示やイベントを通して、作家と市民、牛久市とグレーヴェ・イン・キアンティ市、美術と音楽等さまざまな交流があり、楽しんでいたと思います」と話していました。



6



7



8

6 招待作家のサラ・デル・ジュディチェ氏(写真左)より、展示した2作品のうち1作品を牛久市に寄贈していただきました。寄贈作品は、「IL DONO(贈り物)」(写真中央)。この作品は市役所ロビーに展示される予定です。

7 友好都市両市の子どもの作品

8 大勢の観客が来場したギャラリー・コンサート

第7回うしく菊まつり 新品種の名称決定

牛久の花「菊」 新品種の名称決定

上村遙氏による新品種の菊が「第7回うしく菊まつり」の会場で3種類発表され、会場で新品種の名称を募集しました。104通に上った応募の中から右記の名称に決まりました。



うしく まいひめ
牛久の舞姫
命名者
ひしめま
菱沼みつ子さん
(牛久市)



うしく
牛久あかね
命名者
たけだきみこ
武田君子さん
(牛久市)



うしくしらゆき
命名者
あらいみほ
荒井美保さん
(牛久市)